

愛知県が昨年度開催した、人権啓発イベントのご報告です。

本年度も同様のイベントを開催する予定です。詳細が決まりましたら、ウェブページ、本紙等でお知らせします。

人権ハートフルフェスティバル

平成22年12月12日(日)に開催した、人権ハートフルフェスティバルでは、毎日新聞論説委員の野沢和弘さんの人権トーク「障がい者の人権を守る ～全ての人が暮らしやすい時代に～」のほか、日本初の知的障害児者施設を創設した石井亮一とその妻筆子を描いた映画「筆子・その愛 天使のピアノ」の上映、全国中学生人権作文コンテスト愛知県大会の受賞作品の発表を行いました。

野沢和弘さんの人権トークでは、日本の障害者が置かれている現状、野沢さん自身が障害者の権利を守る活動や、「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」の策定に研究会の座長として関わった際のエピソードなどを、時にはユーモアを交えてお話いただきました。人権トークの最後では、「お互いの違いや弱さを認め合って、慈しみ合うような優しい空気を地域社会に広げていかなければ、我々はこれからの急坂の高齢化社会を生き抜いてはいけないのではないか。ここから10年が日本の試練、みんなで力を出し合って、知恵を出し合って良い時代を作っていけたらと思っています。」と結ばれました。



「あいち人権啓発プラザ」企画展

あいち人権啓発プラザでは、人権問題に関する理解を深めていただくため、さまざまな企画展を開催しています。

第1回は、「人権の世紀へ」をテーマに、女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題などの人権問題を理解できるよう、パネル展示や啓発ビデオの上映を行いました。

第2回は、「ハンセン病を正しく理解するために」をテーマに、ハンセン病はこわい病気という誤解や偏見、差別をなくすため、ハンセン病に関するパネル展示や講演会を行いました。



第3回は、「人権週間～さまざまな人権問題～」をテーマに、人権週間及びさまざまな人権課題について理解できるよう、人権週間広報ポスター展示等を行ったほか、幼少の頃から人権感覚を養っていただくこと、名古屋市昭和区の昭和保育園の園児に、名古屋人権擁護委員協議会の協力のもと、法務省の人権イメージキャラクターによる人権教室や日本介助犬協会による介助犬デモンストレーション等を行いました。

第4回は、「人権教育教材展」をテーマに、学校現場でどのような人権教育が行われているかを理解できるよう、人権教育に関する取組みの紹介や、愛知人権ファンクション委員会で作成した人権教育教材の展示や上映を行いました。

